

ジャワ島
地震

死者5100人超す

【シヨクジャカルタ(インドネシア) 29日共同】
インドネシア・ジャワ島中部地震発生から三日目の二十九日、シヨクジャ

カルタ特別州には国連や各国の救援機が到着し、国際支援が本格化。最大被災地バントウルを中心に倒壊家屋の下敷きになった住民らの捜索が続いているが、ロイター通信によると、シヨクジャカルタの当局者は死者が五千百十五人に達したと明らかにした。(4、6、

8面に関連記事)

日本政府の緊急援助隊は同日、先遣隊がバントウル入りし、民間病院前に仮設診療所を設置。医師二人と看護師二人が病

院から運ばれてくる患者らの診療に当たった。同援助隊の本隊もジャカルタに着き、三十日に被災地に向かう。日本外務省は、シヨクジャカルタ周辺に住む日本人九十一人全員の無事を確認した。

自衛隊派遣へ

額賀福志郎防衛庁長官は二十九日、ジャワ島中部地震の被災者救援のため、陸海空三自衛隊の部隊を国際緊急援助隊として近くインドネシアに派

バントウルでは支援の遅れにいら立つ被災者が物資を運ぶトラックを止め、テントなどを奪う事態も起きている。

インドネシア政府が二十九日までにまとめた被災状況によると、負傷者約一万人、三万五千棟の住宅や建物が損壊、避難民は約五万人に上った。

遣することを決定、準備を指示した。

医師ら3人を

きよう追加派遣

AMDA

国際医療ボランティア
AMDA (本部・岡山市

檜津)は二十九日、ジャワ島中部地震の被災者支援に向け、日本から医師と看護師、調整員計三人の追加派遣を決めた。三十日に出発、三十一日に被害が大きいソロ市に到着する予定。

インドネシア、マレーシア、ネパール支部からも医師、看護師計八人を派遣する方針。

AMDAは募金を受け付けている。郵便振替で口座番号0125012140709。口座名AMDAで、通信欄に「ジャワ島中部地震」と記入する。(長安亜矢子)